



○ 草の根パートナー型

平成18年度第2回 採択内定案件

I. 提案事業の概要	
1. 国名	中華人民共和国
2. 事業名	中国・内モンゴル自治区アラシャン盟における包括的貧困遊牧民の生活支援と地域住民の環境教育を通じた砂漠化防止事業
3. 事業の背景と必要性	中国アラシャン盟では、過放牧によって砂漠化が急速に進み、地域住民の生活環境が著しく悪化している。遊牧民の過放牧は砂漠化をまねき、砂漠化は遊牧民を貧困へ導き、そして遊牧民の貧困は無秩序な過放牧へ、といった悪循環を生みだしている。砂漠化の根本的な解決には、遊牧民が牧畜以外の生業を確立することが必要であり、同時に砂漠化の脅威に迫られている現地住民による環境危機意識の共有と環境保護意識の向上、砂漠化防止に向けた自発的な取り組みが急務となっている。
4. 事業の目的	遊牧民の参加により灌木種子採種事業とエコツアー事業の育成基盤を構築し、遊牧民の生活向上と放牧家畜頭数の削減の両立を図り砂漠化を防止する。同時に、現地学校において環境教育活動を実施し、地域社会全体の環境保護意識を向上させ、持続可能な地域社会の発展に寄与する。
5. 対象地域	中国・内モンゴル自治区アラシャン盟アラシャン左旗
6. 受益者層	<ul style="list-style-type: none"> ● 種子採種事業：アラシャン左旗60世帯、推計300人の遊牧民 ● エコツアー事業：アラシャン左旗36世帯、推計180人の貧困遊牧民 ● 環境教育事業：アラシャン左旗10校、推計3,600人の在学学生
7. 活動及び期待される成果	<ol style="list-style-type: none"> 1. 成果：種子採種圃場の造成による灌木管理の技術向上 活動：種子採種圃場の造成と参加遊牧民を対象とした研修の実施 2. 成果：参加遊牧民による種子採種圃場の自主運営・管理能力の向上 活動：参加遊牧民を主体とする組合方式の管理団体設立と運営基盤整備 3. 成果：採種種子の加工と品質管理技術の向上 活動：機材の調達と参加遊牧民を対象とした研修の実施 4. 成果：環境教育の拡充 活動：環境教育プログラムの作成と広報の強化 5. 成果：参加遊牧民のエコツアー事業の運営能力向上 活動：参加遊牧民を対象とした実践的な研修と実習の実施
8. 実施期間	2007年4月～2010年3月（3年間）
9. 事業費総額	40,265千円（予定）
10. 事業の実施体制	日本側：プロジェクトマネージャ1名、調整員4名、現地業務補助員6名 中国側：現地調整、種子採種、環境教育、エコツアー各担当4名
II. 応募団体の概要	
1. 団体名	特定非営利活動法人 世界の砂漠を緑で包む会
2. 活動内容	種子採種事業、エコツアー事業、環境教育事業